

日本共産党区議会議員
こんにちは伊藤和彦です
 自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
 足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
 日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

「第2のふるさとに住みつづけたい」

UR花畑団地



写真はUR花畑団地

「民営化をやめ公共の役割を果たして」

花畑団地に40年住んでい
 る方から「歳もとつてきま
 したが、「こは私の第2の
 ふるさとです。住み続けたい
 です」の声が寄せられて
 います。

今年4月の「事業仕分け」
 で「民営化」が示されて居
 住者から不安の声があがっ
 ていた都市再生機構(UR)
 の見直しを検討していた国
 土交通省は「都市再生機構
 のあり方に関する検討会」
 の報告書を馬淵大臣に提出
 しました。

民間会社化することは現
 在性に乏しい「社内分社
 化した新しい公的法人する
 か、全額政府出資の特殊会
 社にするか検討したい」と
 発言しました。

「完全民営化」を選択
 しなかったのは当然で
 す。しかし、賃貸住宅団
 地は「ストック(在庫)の
 削減をすすめることにより、
 資産・負債の圧縮を図る」
 と、自公政権時の10万戸対
 象に10年間で5万戸を削減
 する「ストック再生・再編
 方針」をいっそう進める方
 向です。

法人に移行して以来、賃貸
 住宅部門の業務が縮小され、
 もっぱら不良債権化した大
 企業跡地の買い取りや国際
 競争力強化のためと称する
 都市再生事業に特化してき
 ました。

その結果、4000億円
 を超す繰越欠損金(累積赤
 字)を抱えています。
 放漫経営により次つぎ
 と関連会社が作られ、
 高級官僚が天下りし、
 関連事業をそれらの会社が
 独占し受注する『利益構造』
 が形づくられています。

入居募集を中止し、
 実質的な追い出し
 も進んでいます。
 「居住者の居住の
 安定を十分配慮さ
 せたい」(国交相)
 と言うなら、「ス
 トック再生・再編
 方針」を直ちに撤
 回すべきです。
 機構は2004
 年に都市基盤整備
 公団から独立行政
 機関となり、3年
 間の家賃値上げを
 行い、住宅の修繕
 や改修を後まわし
 して、の収益が都
 市再生事業の赤字
 の穴埋めにあて
 られています。
 賃貸住宅部門
 は600億円
 に達する赤字
 経営であるに
 もかかわらず、
 3年間の家賃
 値上げを行い、
 住宅の修繕や
 改修を後まわし
 して、の収益が都
 市再生事業の赤字
 の穴埋めにあて
 られています。

花畑住区センター・大広間の「カラオケ機械、直して欲しい」



10月31日(日)花畑住
 区センター・大広間で町会
 の老人会主催「誕生祝い
 会」が開かれました。楽し
 みにしていたカラオケが機
 械の故障で音が出なくな
 り、参加していた高齢者
 はがっかり。大広間に、カ
 ラオケ機械は2台あり
 ますが、1つは13年
 も使っているとのこと
 でした。
 翌日、私(伊藤和彦)
 は住区推進課長に改
 善を求めました。その
 後、カラオケは音が出
 ることになりました。

伊藤和彦

るようになりそうです。

2008年以降の「派遣
 切り」で仕事も住まいも失
 い賃貸住宅に入居しようと
 も保証人がいない、敷金な
 ど入居の初期費用もなくネッ
 トカフェで過ごす。新た
 な住宅問題がクローズアッ
 プされています。住宅の保
 障は個人の努力だけでは解
 決できません。

花畑団地は10月中旬から
 第一次移転もはじまりまし
 た。居住者のさまざまな声
 を国や行政に届けて住み続
 けられるようがんばります。

北部ふれあいまつりに1400人参加



地域のみなさんと楽しく交流!
ご協力ありがとうございました



10月24日、陣川戸公園で第18回北部ふれあいまつりが開かれました。友鼓会の太鼓、民謡、若者の剣舞、女子のチアリーダー・チェリース、ハーマニカと手品の出し物に拍手がいつぱい。草もち、だんご、トン汁、

